

青少年健全育成講演会

テーマ「地域と学校が連携・協働して、地域ぐるみで青少年を育てる」

11月の青少年健全育成全国強調月間に合わせて、岐阜大学教授の益川浩一氏を講師に迎え、講演会を開催しました。地域や教育の課題など教育に関することから子どもを取り巻く状況について、具体的な事例を交えてわかりやすくお話しいただきました。青少年育成委員や地域の方が参加され、子どもたちの健やかな育ちのために学校と地域が連携・協働することの必要性を学びました。



TOPICS 青少年の活動や地域の方々とのふれあいを紹介します

◎地域の大人が先生に

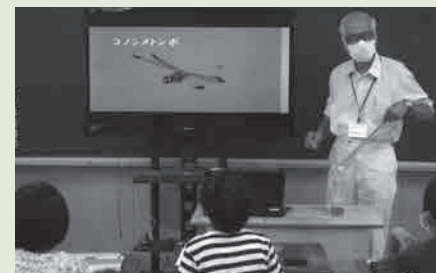
各小学校で講師として地域の大人の方が自身の培った知識や技術を教えています。児童は普段の授業とは異なる様々なことを学び、交流の場にもなっています。



笠松小 学びフェスタ



松枝小 クラブ活動



下羽栗小 「くり勉」スペシャルday

◎笠松中学校 ボランティア

町内のイベントや様々な講座のスタッフとして中学生ボランティアが積極的に活動しています。



◎岐阜工業高校 建設工学科 地域協働班

生徒と地域の方が協働で地域づくり、笠松町の魅力を再発見するための活動として「かさまつり」を開催しました。

中でも駄菓子屋さんには好評につき第2弾、第3弾も開催され、地域の子どもたちも大いに楽しみました。



かさまつ

青少年育成町民会議だより

発行：笠松町青少年育成町民会議広報部会 事務局（笠松中央公民館内） 電話 388-3231

今回は、長きにわたり子どもたちの育成に携わっていただいている団体をご紹介します

地域の大人たちが小学生に体験の場を！「笠松町こどもわくわく広場」

毎月第2、第4土曜日10時近くになると、公民館に小学生が集まってきました。「わくわく広場」の日です。「おはようございます。今日は何の講座にきましたか？」と、玄関受付でスタッフが部屋の案内をする光景がみられます。自分のいく講座の部屋を確認すると、子どもたちは見送りの親たちと別れて各部屋へと走って行きます。

「笠松町こどもわくわく広場」は笠松町内の小学生が様々な体験のできる場所です。クッキング・木工・ちりめん細工・科学実験・将棋・粘土細工・フラワーアレンジメント・茶道・絵手紙・お話と工作・紙飛行機・大正琴・お人形作り・箏演奏・プログラミングなど。家でも学校でもできない楽しい体験をすることができます。



それを支えているのは地域の大人たちです。子どもたちの身近には様々な能力を秘めた方々や、子どもたちのために「いいよ。」と言ってくださる方がたくさんいらっしゃいます。現在、約70名がスタッフとして活動しています。みんなボランティアです。でも、私たちスタッフも子どもたちからやりがいと元気を貰っているのです。

またここには中学生もお手伝いとしてボランティアで参加してくれています。



11時、わくわく広場が終わる時間です。にぎやかな声が玄関に集まってきました。自作の作品を大事そうに持っている子もいます。「じょうずにできたね。」とお迎えのお母さんが思わず声をかけています。満足そうな子どもたちの顔、顔。

「ちょっとむずかしかったけどできて楽しかった。」
「先生がやさしくおしえてくれた。」「家に帰ってまたやりたい。」
毎回子どもたちからこんな感想が寄せられます。

学校が土曜日休みになる平成13年に始まった活動です。コロナ禍の為中断した時もありましたが、今年で21年目になります。たくさんの子どもたちがわくわく広場を体験し、卒業していきました。今、大学生で就職活動している人も、結婚してお母さんになった人もあります。



私たちスタッフは、わくわく広場で体験したことが何かしらのきっかけになって、その子の人生が豊かになることを願っていますし、そうなると信じています。

笠松の子どもたちのために「いいよ。」と言ってくださる方、一緒にやりませんか？

笠松町こどもわくわく広場 代表 小栗知津子



令和4年6月19開催

第44回 少年の主張大会



最優秀賞に選ばれた2名は岐阜圏域審査会に推薦されました。

中学生の部

最優秀賞



はやし
林 あいり
「魅力とは」



なかがわ あゆ
中川 愛結
「誰もが自分らしく
生きられる社会」

優秀賞



たかはし
高橋 ひなた



わたなべ あゆな
渡邊 愛友菜



かとう あやゆ
加藤 綾芽

小学生の部

優秀賞



おがわ かほ
小川 果峰
笠松小

おだ りひと
織田 理史
笠松小

やすえ こゆき
安江 瑚雪
松枝小

こやま りゅうせい
小山 龍聖
松枝小

はやし めい
林 芽生
下羽栗小

かたぎり ゆうと
片桐 悠斗
下羽栗小

青少年の作文 テーマ「家族・学校・地域」

最優秀賞



かねまつ りりか
下羽栗小2年 兼松 凜々花
「コロナになって思うこと」



しとう ゆりな
下羽栗小6年 仕藤 祐里奈
「私と学校」



ごとう ねね
笠松中1年 後藤 寧々
「自信はつくるもの」

優秀賞

- 笠松小 2年 まつばら はるき 松原 遙輝
- 笠松小 4年 なせがわ あおい 長谷川 葵依
- 笠松中 1年 あかつかえいすけ 赤塚 瑛佑

- 松枝小 3年 もり あやな 森 絢菜
- 笠松小 5年 こばやし まなと 小林 真士

入選

- 松枝小 1年 かめい りお 亀井 鈴央
- 下羽栗小 1年 すざうら ありさ 杉浦 有紗
- 松枝小 2年 かつもと えま 勝本 恵菜
- 笠松小 3年 たなか しおん 田中 聖恩
- 下羽栗小 3年 きし はると 岸 春都

- 松枝小 4年 まきた もも 牧田 萌々
- 下羽栗小 4年 かとう ななみ 加藤 菜々美
- 松枝小 5年 はやしえいと 林 永翔
- 下羽栗小 5年 やまもと がくせい 山本 樂世
- 笠松小 6年 おだ こころ 小田 こころ
- 松枝小 6年 ほりうち りせ 堀内 梨世

青少年によい環境を 社会を明るくする運動

青少年の非行・被害防止全国強化月間にあわせて、7月13日(水)に笠松町役場にて「社会を明るくする運動」の伝達式を行い、また、笠松中学校生徒会に青少年の非行・被害防止の啓発物品を贈呈しました。



笠松町役場にて伝達式



啓発物品の贈呈式

社会を明るくする運動 作文コンテスト



犯罪や非行のない地域社会づくりや犯罪・非行をした人の立ち直りについて感じたことや考えたことをテーマにした、「法務省“社会を明るくする運動”中央推進委員会」主催の作文コンテストです。全国の小中学生が応募した作文の中から、笠松小学校の加藤さんが優秀賞に選ばれました。

優秀賞

笠松小学校6年 かとう すみれ 加藤 澄伶 「夢や希望のある笠松町に」

三世代ふれあい活動

各町内の育成委員が中心となり、青少年の健全育成や地域活性化を目指して、子どもからお年寄りまでが共に交流する「三世代ふれあい活動」を推進していきます。



春日・東陽・常盤町「ちりめん細工作り」



弥生・清住町「子ども神輿」

令和3年度 積極的にボランティア活動を行い表彰を受けられた青少年団体の皆さんです

笠松小学校5・6年生

5年生は地域の方と一緒に育てた小菊を、6年生は心を込めて育てた葉ボタンを、地域の施設やお世話になった方へ感謝の言葉と共に贈り届けました。



笠松小学校JRC委員会

アルミ缶やペットボトルキャップの回収活動を行いました。令和3年度は収益金で新こども館へ大型掛け時計を寄贈しました。ペットボトルキャップは業者を通して再生利用資源として活用しました。

